弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名：　弘前大学大学院医学研究科
放射線腫瘍学講座
研究責任者：　廣瀬　勝己

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称　強度変調放射線治療における最適化自動プログラム MeBOS の線量品質、効率性、臨床的受容性および医師意向反映性に関する観察研究

研究の目的

強度変調放射線治療（IMRT）や強度変調回転照射（VMAT）などの高精度放射線治療では、標的に十分な線量を与えながら、周囲の正常臓器への線量をできるだけ抑える治療計画を作成する必要があります。この治療計画の作成には専門的な知識と経験を要し、多くの時間と労力を必要とします。

研究責任者である廣瀬は、放射線治療計画における人間の判断過程をルール化し、医師が定めた標的や正常臓器の優先順位に基づいて治療計画を自動的に最適化するプログラムである MeBOS（Method-Based Optimization Script）を開発しました。

本研究では、当院で放射線治療を受けた患者さんの診療情報および放射線治療計画情報を用いて、MeBOS により作成された治療計画が、従来の方法で作成された治療計画と比べて、

・線量分布の妥当性
・正常臓器の保護
・治療計画作成の効率性
・医師の治療方針の反映のしやすさ

の観点からどのような特徴を有するかを検証することを目的としています。

研究実施期間　実施許可日　～　2030 年　3 月　31 日

対象となる方　2015 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までの期間に、当院放射線治療科を受診し、悪性腫瘍の診断で放射線治療を受けた方。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、以下の情報を、本研究のために利用します。

・年齢、性別、診断名、病期分類などの患者背景情報
・画像検査所見、治療前後の臨床情報
・放射線治療に関する情報（照射法、総線量、分割回数など）
・放射線治療計画用 CT 画像および治療計画 DICOM データ

・線量分布データ、DVH（線量体積ヒストグラム）データ
・MeBOS のログファイル
・有害事象、治療経過、再発の有無、予後情報

利用に当たっては、氏名、住所、電話番号、患者番号等、個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して取り扱います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から個人が特定されることはありません。

また、本研究で得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

外部への試料・情報の提供

外部への情報提供はありません。

本研究課題について，より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から，試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は，当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし，連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は，該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので，ご了承願います。

本件連絡先	放射線腫瘍学講座　廣瀬　勝己 電話：0172-39-5103